

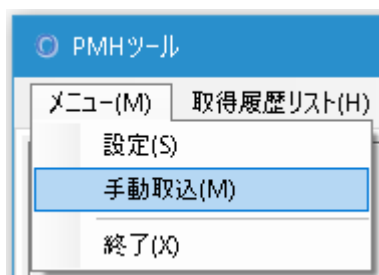
4.9 手動取込

通常 PMH ツールが起動している間は、顔認証結果ファイルの監視をおこない、顔認証結果ファイルに PMH 情報が含まれている場合、レスポンスフォルダから医療費助成情報ファイルを取得して医療費助成情報の反映をおこないます。

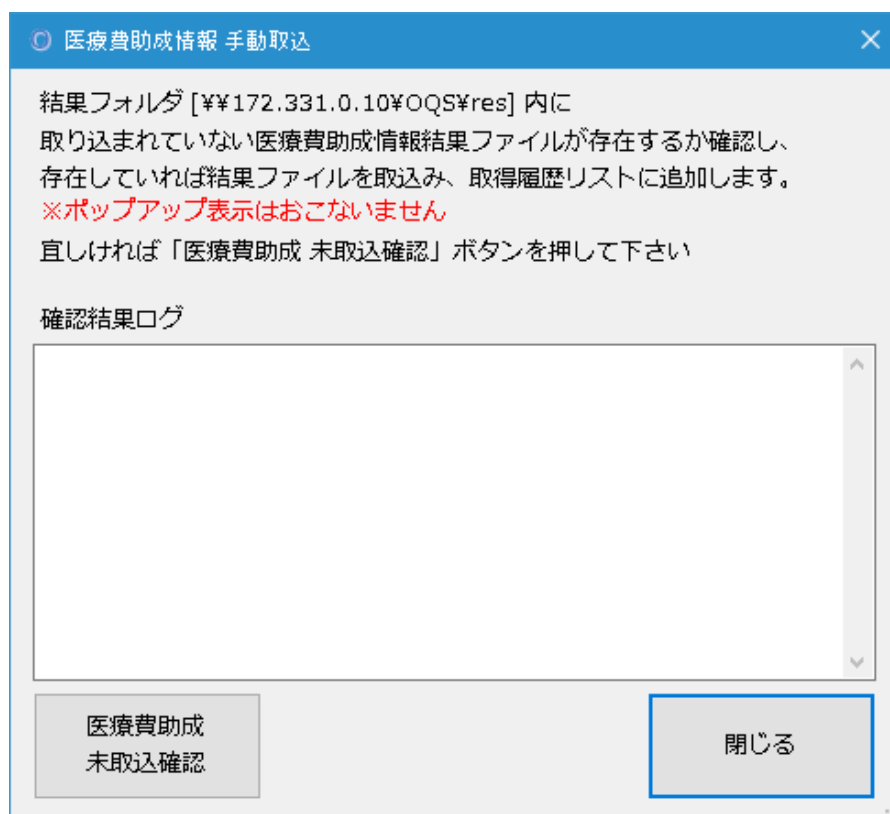
ただ、PMH ツールが起動しておらず、顔認証結果ファイルの監視がされていない場合、医療費助成対象の患者様が顔認証カードリーダーにて受付をおこなった場合は、医療費助成情報ファイルの取りこぼしが発生する可能性があります。

そのような状況になった場合は、手動取込によりレスポンスフォルダを監視し、医療費助成情報ファイルとそれに紐づく顔認証結果ファイルの取込をおこなってください。

4.9.1 未取込状態の医療費助成情報の取込



親端末のメニューから「手動取込」を選択すると以下の画面が表示されます。
(子端末では選択できません)



現在設定されているレスポンスフォルダ内に取りこぼした医療費助成情報ファイルが存在しているか確認し、存在している場合、それに紐づく顔認証結果ファイルを顔認証結果フォルダから検索します。

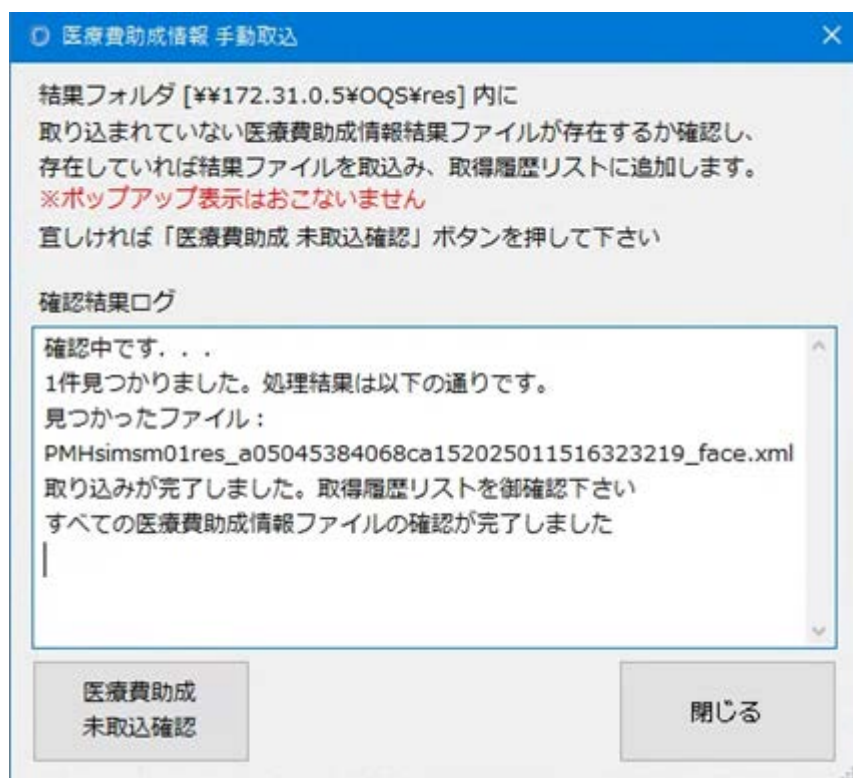
紐づいている顔認証結果ファイルが存在している場合は、顔認証結果ファイルと医療費助成情報ファイルを取込み、PMH ツールの取得履歴リストに追加致します。

※ポップアップ表示は起こりません。

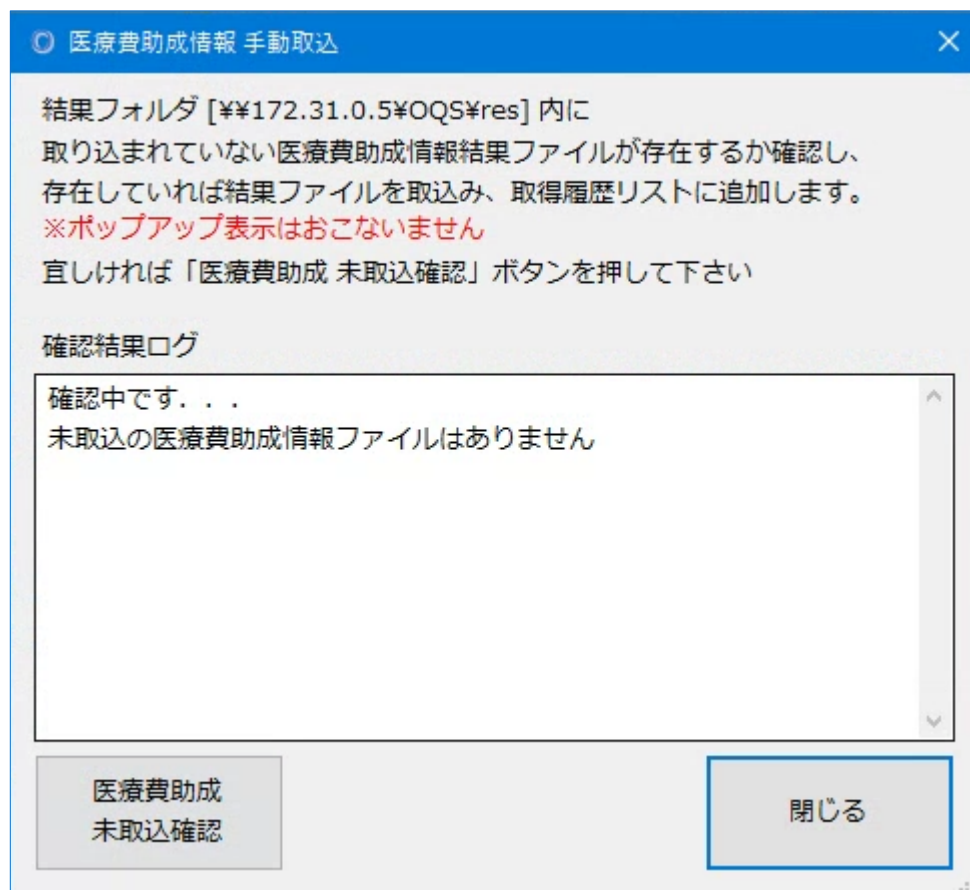
取りこぼした医療費助成情報ファイルが複数存在する場合は、そのすべての医療費助成情報ファイルに対して順番に処理をおこないます。

確認結果は「確認結果ログ」に表示されます。

正常に取込まれた場合、レスポンスフォルダ内の医療費助成情報ファイルはレスポンスフォルダから取り除かれます。



未取込の医療費助成情報ファイルが存在しない場合は、その旨のログが出力されます。



エラーファイル(拡張子.err)の場合、エラー内容をログに出力後、エラーファイルをレスポンスフォルダから削除します。

紐付く顔認証結果ファイルが見つからない場合、その旨をログに出力します。ファイルの削除は起こりません。

処理終了後は「閉じる」ボタンを押して画面を閉じて下さい。